

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 災害対応体制強化・消防団員確保事業

自治体名

大分県 玖珠町

消防団名

玖珠町消防団

1 事業の目的

頻発化・激甚化する災害の最前線に対応にあたる消防団員の身体の安全性を確保する装備品を導入し、さらには防災士会・防災士・各コミュニティとの連携を強化することで、機能別消防団の設置や新たな団員の確保に繋げ、地域防災能力の充実強化をはかるもの。

2 事業内容

- 令和6年 9月12日：玖珠町消防団あり方検討委員会
- 令和6年10月17日：玖珠町副隊長以上幹部会議
- 令和6年11月10日：玖珠町消防団・防災士合同研修（＊研修風景下図）
講師：消防団充実強化アドバイザー（太田 和弘 氏）
演題：災害時の地域防災力の強化～消防団と防災士との連携強化～
参加者：消防団員等86人・防災士13人 合計99人
防災士を対象に機能別消防団に関するアンケートを実施
- 令和7年 1月22日：玖珠町消防団あり方検討委員会
- 令和7年 2月13日：玖珠町消防団部長以上幹部会議
- 令和7年 2月27日 玖珠町消防団・防災士との意見交換会
議題：新たな消防団組織と役割について 等

3 事業成果

- 令和7年4月からの実動にむけて、機能別消防団員設置要綱を制定。加えて、玖珠町消防団条例・規則を改正し消防団員定数を見直した。
- 機能別消防分団の新設にむけた議論や、消防団充実強化アドバイザーを招いた研修会を開催することで、消防団組織のあり方や組織再編などの諸課題について協議し、組織強化の促進がはかられた。
- 防災士を中心とした災害対応分団の設置にむけて、消防団と防災士会との協議を進めている。現段階で入団に関する前向きな意向を確認していることから、入団者の拡大にむけた取り組みを支援する。またOB消防分団の設置にむけては、入団者の確保が着実に進んでいる。
ア. 災害対応分団（R8.4までに40人を確保予定）
イ. OB消防分団（R8.4までに40人を確保予定 R7.3時点で32人確保）
ウ. 女性消防団（R8.4までに10人を確保予定）
- 本事業により、高視認性ヘルメット・安全靴を導入したことで、消防団装備品の充実および安全性の向上がはかられた。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
加入促進	人数	30	32	R7.4月に機能別消防団員32人が入団予定。R8.4時点で80人に拡充する。
連携強化	回/年	2	2	
広報・周知	回/年	6	4	

5 その他参考情報

玖珠町ホームページ：<https://www.town.kusu.oita.jp/>
全国的に女性消防女消防団員数が増加傾向にあることから、女性にも消防団活動への理解促進に努める。併せて女性が入団した際に活動しやすい施設整備・活動内容を不断に検討する。

